

平成 26 年 度 一 般 採 用 試 験 前 期

国 語 試 験 問 題

(人文・社会科学専攻)

(注 意)

1. 試験時間中は、すべて試験係官の指示に従うこと。
2. 設問ごとに記載してある解答方法の指示に従い、マークセンス解答用紙又は記述式解答用紙に記入及びマークすること。(記述式の問題は、すべて黒枠で囲った形で示されているので注意すること。)
3. 古文及び漢文は、1つの本文の設問中にマークと記述の両方が含まれているので注意すること。

(マークセンス注意)

1. マークセンス問題解答用紙の注意事項を確認のうえ、例にならって氏名及び受験番号を解答用紙に必ず記入及びマークすること。

例 【氏名】 防大 渚 【受験番号】 神奈川県W1234 の場合

※氏名及び受験番号の記入について

	姓	名
フリガナ	ボウダイ	ナギサ
漢 字	防大	渚

	志願地本名	専攻区分	番 号
受験番号	神奈川県	人	W1234

女子受験者について、番号のWはマークしなくてよい。

※受験番号等のマークについて

志願地本名	札幌：(01)	福島：(10)
	函館：(02)	茨城：(11)
	旭川：(03)	栃木：(12)
	帯広：(04)	群馬：(13)
	青森：(05)	埼玉：(14)
	岩手：(06)	千葉：(15)
	宮城：(07)	東京：(16)
	秋田：(08)	神奈川：(●)
	山形：(09)	新潟：(18)

専攻区分	
人社	(●)
理工	(2)
性別	
男	(1)
女	(●)

番 号			
(0)	(0)	(0)	(0)
(●)	(1)	(1)	(1)
(2)	(●)	(2)	(2)
(3)	(3)	(●)	(3)
(4)	(4)	(4)	(●)
(5)	(5)	(5)	(5)
(6)	(6)	(6)	(6)
(7)	(7)	(7)	(7)
(8)	(8)	(8)	(8)
(9)	(9)	(9)	(9)

2. 解答方法は、択一式であり、設問ごとの指示に従い、解答用紙の解答欄にマークすること。
例えば、**1**と表示のある問題に対して(3)と解答する場合は、次の例のように**1**の解答欄の**(3)**にマークすること。

解 答 マ ー ク 欄						
例	1	(1)	(2)	(●)	(4)	(5)

(記述式注意)

1. 各問題の設問の数に注意すること。
2. 解答はすべて別紙解答用紙の定められた欄におさまるように記入すること。
なお、一行に相当する枠に、二行以上にわたって記入しないこと。正しく記入していない場合には採点されないので注意すること。
3. 解答中の誤字(仮名づかいの誤りも含む)は、その程度に応じて減点する。

この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承願います。

この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承願います。

この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承ください。

この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承ください。

掲載
この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の問題から
掲載することができませんので、ご了承承願いたします。

掲載
この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の問題から
掲載することができませんので、ご了承承願いたします。

*(注) ハーデイ——トマス・ハーデイ。イギリスの小説家、詩人。

石川啄木——歌人、小説家。明治後期に短歌作者として活躍した。なお、正確には「啄木」は「啄木」と表記する。

佐藤春夫——詩人、小説家。自作の中で度々故郷の熊野について言及している。

ロレンス——D・H・ロレンス。イギリスの小説家、詩人。代表作に「チャタレー夫人の恋人」がある。

室生犀星——詩人、小説家。

乞食かたな——「こじき」と同義。共に現代では差別用語とされている。

没場所性——大量消費社会の到来と共に大手スーパーマーケットや配送業者、ウェブ上のショップ等が地域に進出し、生活・消費・政治等の様々な空間がそこに無秩序に配置されることで、その地域固有の特性や共同性が失われてしまうこと。

高次のシミュラクル環境——その地域が本来持っていた固有性や文化風土が消失し、利便性を最優先にした画一化された街並みが広がっているような状態。

ジョージ・オーウェル——イギリスの小説家、ジャーナリスト。

モトリアム期——自らの社会的な責任や位置を未だ社会から規定されない状態の中で、それを模索している青少年期のこと。

スクワイヤー——アメリカの心理学者。記憶の分類法を確立した。

「故郷」——文部省唱歌として一九一四年に発表され、学校教育の場に留まらず、一般社会にも広く普及した。

武蔵野台地——関東平野西部の荒川と多摩川に挟まれた台地。

マークセンス

1 空欄 A に入る言葉として、本文の論旨に照らして、最も適当なものを次の中から一つ選び、その番号を解答用紙にマークせよ。

- (1) 歴史意識に固執
- (2) 伝統習慣を墨守
- (3) 故郷概念を超克
- (4) 状況変化に拘泥
- (5) 郷土空間を想起

2 文中の空欄 B に入る言葉として、本文の論旨に照らして、最も適当なものの中から一つ選び、その番号を解答用紙にマークせよ。

- (1) 現時点の願望に基づいて記憶を再構成した「自分物語」
- (2) 記憶を現時点の願望に合わせて再修正した「虚偽情報」
- (3) 恣意的に現時点での願望内容を再編集した「加工記憶」
- (4) 現時点での願望に基づき記憶を再検証した「自己認識」
- (5) 過去の記憶と現時点での願望を再合成した「仮構体験」

本文中で用いられている「故郷喪失」に関する説明として、本文の論旨に照らして、最も不適当なものを次の中から一つ選び、その番号を解答用紙にマークせよ。

- (1) 「故郷喪失」は、室生犀星の詩にあるように、そこから隔絶されているが故に郷愁の対象になるという性質を内包する。
- (2) 「故郷喪失」は、自己と社会との関係が常に変化し、その適応を強いられた近代社会においては必然的な事態であった。
- (3) 「故郷喪失」は、過去の関係性から逃れて、「ここではないどこか」を求めて彷徨する近代人の心性が生んだものである。
- (4) 「故郷喪失」は、出身地域との繋がりを喪失した現代人に、都会を希求し「帰郷」を否定するという傾向をもたらした。
- (5) 「故郷喪失」は、過去の関係性を断ち切り新たな場を求めるという近代人の未来志向を背景として生み出されたものだ。

二重傍線部に「記憶としての故郷」も、二つの理由ではなはだ心許ない存在である」とあるが、その理由の説明として、本文の論旨に照らして、最も不適当なものを次の中から一つ選び、その番号を解答用紙にマークせよ。

- (1) 「記憶としての故郷」は、近代小説や詩、唱歌「故郷」により形成された歴史的イメージが生むものでもあるので、ここではそれを記憶する当人の現実との齟齬が発生し、必然的に虚構性の強い内容にならざるを得ないから。
- (2) 「記憶としての故郷」は、その当人の心理的な作用が意識的あるいは無意識的にそこに関与することによって頻繁に姿を変えがちであるので、その記憶の成立当初からそこには恣意的で曖昧な要素が抱え込まれてしまっているから。
- (3) 現在の世界においては、ウェブ空間が現実空間に入り込むことで、「記憶としての故郷」をめぐって歴史的に定型化されてきたイメージが思いがけない形に再編されて、その記憶が形成される過程も変容する可能性があるから。
- (4) 意味記憶とエピソード記憶という二つの記憶の領域の中で、「記憶としての故郷」はエピソード記憶の領域に位置付けられるものであり、そこでは記憶内容をめぐる編集や改変、忘却などの流動的な事態が常に起きているから。
- (5) エピソード記憶は、直接体験した出来事だけではなく、間接的に聞き取った情報とも無意識的に融合することがある「非陳述的記憶」であり、そこで生まれる「記憶としての故郷」の内容は必ずしも正確だとは限らないから。

本文の論旨に照らして、最も適当なものを次の中から一つ選び、その番号を解答用紙にマークせよ。

- (1) 新たな場を求める夢想的志向ゆえに、近代人は「帰るべき場所」としての故郷にノスタルジーを覚えるが、その背景には、ハーディの「エグドン・ヒース」のような確固たる帰属の場を喪失したという、近代に普遍的な事態がある。
- (2) ハーディの『帰郷』においては、故郷はもはや個人が帰属し得ない隔絶された場なのであり、個人存在とその帰属をめぐるその近代的意識は、故郷を捨て都会に憧れる登場人物クリムとユウステシアの設定にも反映されている。
- (3) ウェブ空間は、そのメディアとしての没場所性と「記録としての故郷」を生む高い記録性によって、経験的に慣れ親しんだ故郷空間を離れ、無機的な都市空間のなかで自己を実現するという現代人の志向を促進することになった。
- (4) パトリオティズムは、生地とその生活様式、地域共同体への愛情を総合的に含むものだが、オーウェルが指摘するように、その愛情を共有しない人にもそれへの共感を求めて、過剰に故郷に献身しようとする傾向を伴うことが多い。
- (5) デイストピアを『1984年』で描きながらも実際は故郷への愛を忘れなかつたオーウェルと同じく、高度経済成長期以降の日本人が持つ故郷への愛着は、モラトリアム期の自己を実際に育んだ出身地を確固たる基盤としている。

〈記述式〉 現代文 (一) (七) 次の文章を読んで、後の設問に答えよ。

掲載 この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の問題から
掲載することができませんので、ご了承ください。

掲載 この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の問題から
掲載することができませんので、ご了承ください。

この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承ください。

この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承ください。

この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承願います。

この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承願います。

この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承承願いたします。

この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承承願いたします。

*(注) フォークロア——民間伝承、民俗学。

花田清輝——作家、評論家。主に文学・芸術論の領域で活躍した。

ユークリッド幾何学——古代ギリシアを中心に発達し、以後の数学の基礎となった幾何学体系の一つ。

柳田国男——民俗学者、詩人。

赤松啓介——民俗学者。

堀一郎——宗教学者。柳田国男に師事した。

「あやし」の伎人——「あやし」はここでは「見慣れない」といった意味で「いやし」と対比されている。「伎人」は技芸に優れた者。

畿内——現在の奈良県、京都府南部、大阪府と兵庫県の一部にわたる地域。

チヨンダラー——中世に本土から渡来したとされる、沖縄の芸能において念仏を唱えたり

道化の役を担う者。

山窩^{サンカ}——サンカ。狩りや漁をしながら非定住生活をする山間部の人々を指すが、非常に曖昧

な用語であり、学問的な概念ではない。

三角寛——「サンカ」についての小説や著述を多く著したが、創作と思われる部分が多く、

現在ではその学術的価値は否定されている。

デマゴーク——根拠の薄い主張で民衆を煽動する者。

五木寛之——作家。『風の王国』は一九八五年発表の小説作品。

メルロポントンティ——哲学者。身体論の立場から人間存在を考察した。

折口信夫——民俗学者。日本語や日本の民間習俗の根源にある日本人の感性を考察した論

考を数多く発表した。

特殊部落——被差別部落に対する差別的呼称。

穢多——前近代の身分制度の一つ。社会の中で最下層に位置するその身分とされた人々に

対する差別的呼称でもある。

夙——日本の中世から近世に西日本に多く住んでいた被差別の民とされるが、その実態は

多様であり、不明な部分も多い。

山番・隠坊——主に農村周辺で特定の職を担う人々を指す差別的呼称であるが、漠然とし

た用語であり現在ではほとんど使われない。

イザベラ・バード——イギリスの旅行家、紀行作家。明治時代に東北や北海道を含めた日本

各地を旅して『日本奥地紀行』を著した。

スラム街——経済的に貧しい人々が多く住む、居住環境やインフラが十分に整備されてい

ない区域。

〈記述式〉

(一) 片仮名傍線部(1)～(5)について、それぞれ漢字二文字に直して記せ。

(1) ザツバ (2) ホソク (3) ジュバク

(4) ゴウフク (5) オウオウ

(二) 波線部(1)～(5)の漢字について、それぞれその読みを平仮名で記せ。

(1) 翻弄 (2) 捏造 (3) 祭祀 (4) 衣裳 (5) 熾烈

(三) 点線部(あ)～(え)について、それぞれその読みを平仮名で記せ(漢字部
分の読みだけを記入すること)。

(あ) 破い (い) 侵し (う) 頑な (え) 儂い

(四) 二重波線部(イ)の△二つの特質と影響は、〈サンカ〉と呼ばれる人々に
対する場合はどのような形のものであったのか。それを最も具体的に示し
た箇所を、五字以内で本文中から抜き出せ。

(五) 二重波線部(ロ)に〈境界はやはり怪物なのである〉とあるが、その理由
として最も不適当なものを、本文の論旨に照らして、次からひとつ選び、
その番号を記せ。

(1) 境界は、その実体などどこにも存在しないのに、人間の意識に強
く作用するものであるから。

(2) 境界の線引きには、その人為的性格を隠蔽する、暴力的な政治学が
否応なく関わってくるから。

(3) 境界は、近代的な政治学に基づく客観的区分であるのに、暴力や非
合理的感情を生み出すから。

(4) 境界とは、両者を区分する意味的基準が曖昧な領域に顕在化する幻影のようなものであるから。

(5) 境界の線引きの根拠が曖昧であっても、そこに恣意的な根拠が事後的に見出されてしまうから。

(六) 本文の論旨に照らして、最も適当なものを次からひとつ選び、その番号を記せ。

(1) 幼児期の対人関係に関してメルロ・ポンティは、「心理的硬さ」を抱えた人間は、自分の内部にある境界を自明化し、不安を外部に投影し、コムプレックスの形でその不安を意識の奥底に隠蔽する傾向があると指摘している。

(2) 被差別部落は、定住を主とする農民と、多元的な出自を持つ非定住的な職能者集団との歴史的関係から生まれたものである。その差別意識自体も、特定の地域における局地的な属性として正確に捉えられるべきである。

(3) 東北や沖縄で被差別部落が制度的に定着しなかったのは、差別／被差別の領域が融合し、排除意識が互いに曖昧になった「断層的破砕帯」が、それらの地域に多様な形態をとって広がっていたからだと言筆者は主張している。

(4) イザベラ・バードは、アイヌ文化を含めた日本文化への深い理解と、二元的な差別を超越した洗練された感性を持っており、そのアイヌへのまなざしの中には、西洋文化がもはや喪失しつつある美質を見出すことができる。

(5) 花田清輝は、「線」がそうであるように、フロンティアもまた主観的

な意識によって生まれる非実体的存在であり、それはそこで分割するところのこちら／あちらの両方に波及し変容する揺らぎの場であると主張している。

(七) 筆者は、「差別」とはどのようなものであると考えているのか。「差別」において「内なる他者」がどういう役割を果たすのかを具体的に示しながら、本文全体の論旨を踏まえて、五十字以上六十字以内で説明せよ。解答の際には「内なる他者」という語句を必ず用いること。なお、解答に際して本文中の語句は用いてよいが、本文からの抜き出しのみ、あるいは本文から抜き出した文章を組み合わせただけの解答は認められない。

〈記述式〉 古文 (一)～(三) 次の文章を読んで、後の設問に答えよ。

この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承ください。

この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承ください。

* (注) 花精妙——「桜」の枕詞。

たちぐく——立ちくぐる、飛びまわる。

艶ある声——美しい声。

面なきこと——恥ずかしいこと。

いづれの神になき名負すらんかし——神のたたりだと何も知らない神にまで無実の罪をき

せることになるであらう。

受領の下司——国守の下役人。

御宮仕へ——妻として傍にお仕えする。

狂言——冗談。

禄——結納。結婚費用。

孔子——儒教の創始者。

帯——帯びるもの。太刀。

へマークセンス

6

傍線部(1)のように、真女子が豊雄に憐れんでほしいと言っているのは、真女子のどのような状況か。その説明として最も不適当なものを次の中から一つ選び、その番号を解答用紙にマークせよ。

- (1) 恋の思いをうちあけないうちに病気になること。
- (2) 両親とともに早く失い乳母の手で育てられたこと。
- (3) 故郷を離れた任地で夫が病気で死んでしまったこと。
- (4) 未亡人になって頼りにできる人間がいなくなったこと。
- (5) 故郷の京も知り合いのいない国になってしまったこと。

7

傍線部(2)のように、真女子が告白を冗談として受け取ってくれと言った結果、豊雄はどういう気持ちから求愛の返事をしたのか。豊雄の言動を根拠とした説明として最も適当なものを次の中から一つ選び、その番号を解答用紙にマークせよ。

- (1) 真女子の告白が浮ついた気持ちからのものではないことがわかったから。
- (2) 真女子から告白させてしまい、その体面を傷つけてしまったと思ったから。
- (3) 真女子を失ったら、都の女と出会う機会は二度とないと豊雄は思ったから。
- (4) 豊雄が躊躇して求愛を受け入れないと真女子は死んでしまうと思ったから。
- (5) 心から自分が慕う真女子が、わびしがっている様子に心を動かされたから。

傍線部(3)「の」と同じ意味の「の」を含む文は次のどれか。次の中から一つを選び、その番号を解答用紙にマークせよ。

- (1) 人の心の秋にはあらずとも、菊の色こきはけふのみかは。
- (2) 万葉集に入らぬ古き歌、みづからのをも奉らしめ給はむ。
- (3) 秋の田のかりほの庵の苫をあらみ我が衣手は露にぬれつつ
- (4) ひだりまへなる人の何事にこころまどひしては、かまど竈をつきかへ、
むかしくすりあきなふ人の医者かねたるが、世におほくありけり。

〈記述式〉

(一) 二重傍線部(a)(b)の読みを、(a)は平仮名三文字、(b)は平仮名二文字でそれぞれ記せ。

(a) 乳母 (b) 貴

(二) 二重波線部(イ)(ハ)を現代語訳せよ。

(イ) 努徒なる言にな聞き給ひそ。

(ロ) 汚き物に捨て給はずば、

(ハ) 辞みなんは祥あしければとて、

(三) 波線部のように、親の許可を得ていないので外泊を断った豊雄の言葉と全く矛盾する言葉を、本文第二段落から十字以内(句読点を含む)で抜き出して示せ。また、そのように豊雄の考えが揺れる原因を示す最も適当な箇所を、本文第一段落から八字以内で抜き出して示せ。

〔記述式〕 漢文 (一)~(四) 次の文章を読んで、後の設問に答えよ。ただし、設問の都合上、返り点・送り仮名を省いたところがある。

この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承ください。

この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承ください。

*〔注〕

楚子——楚の成王。

商臣——成王の子。

令尹——宰相。

蠶目——蜂のような目。

豺声——狼のような声。

職——成王の子の名。

享——もてなすこと。

江芊——成王の姉。

役夫——蔑称。

宮甲——宮中の兵。ここでは太子付きの親兵。

熊蹯——熊の手。

縊——首をくくること。

瞑——目を閉じて死ぬこと。

室——家財。

大師——王の教育係。最高の名譽職。
環列之尹——近衛兵の長官。

へマークセンス

9

傍線部(a) (c)の主語として最も適当な組み合わせを次より選び、その番号を解答用紙にマークせよ。

- | | | | | | | |
|-----|---|----|---|----|---|----|
| (1) | a | 商臣 | b | 職 | c | 成王 |
| (2) | a | 子上 | b | 潘崇 | c | 商臣 |
| (3) | a | 成王 | b | 潘崇 | c | 潘崇 |
| (4) | a | 潘崇 | b | 商臣 | c | 職 |
| (5) | a | 成王 | b | 商臣 | c | 商臣 |

10

本文の論旨に照らして誤っている内容の文を次より選び、その番号を解答用紙にマークせよ。

- (1) 子上は成王が商臣を皇太子にすることに對して様々な点から反対した。それはこのことが楚国の将来にとって大きな問題を惹起すると予想されたからである。
- (2) 成王は子上の諫言を顧ることなく商臣を皇太子の地位につけた。しかし後には子上が言っていたように他の王子をその地位に立てようと考え始めるに至った。
- (3) 江半は成王の姉で成王に対して大きな影響力を持つ女性であった。そこで彼女はその力を利用して商臣を廃立し、お気に入りの職を皇太子に立てようとした。
- (4) 潘崇は江半が成王の意向を確実に把握しているとらんでいた。そこで彼は江半から商臣廃立に関する正確な情報を得るために一計を案じて、商臣に授けた。

- (5) 商臣は師の潘崇が授けてくれたアドバイスの確かさを大いに評価した。そこで皇太子時代の財産を与え、太師として遇し、王を守護する長官につけて報いた。

〈記述式〉

- (一) 二重波線部(A)は成王がまだ若く、後継者を決めてしまう時期ではないことを言うものである。空欄[A]に入る語として最も適当な身体に関する漢字を次より選び、番号で答えよ。
- (1) 髪 (2) 目 (3) 耳 (4) 齒 (5) 口
- (二) 空欄[B]は二重波線部(B)の内容を道理に適切にすることだと肯定する意味の語である。空欄[B]に入る語として最も適当なものを次より選び、番号で答えよ。
- (1) 況 (2) 宜 (3) 当 (4) 盍 (5) 寧
- (三) 波線部(1)を現代語訳せよ。
- (四) 波線部(2)の具体的な意味を五字以内で述べよ。